

ほけんだより

性に関する指導 特別号

愛川町立菅原小学校
令和6年2月8日発行
養護教諭

1月の保健だよりでお知らせしていた通り、全学年で発達段階に応じた「性に関する指導」を行いました。児童の感想等も交えながら、簡潔に内容をご紹介します。

1年生 からだはたからもの

1年生では、「プライベートゾーン」について、学習しました。

○をつけてみよう

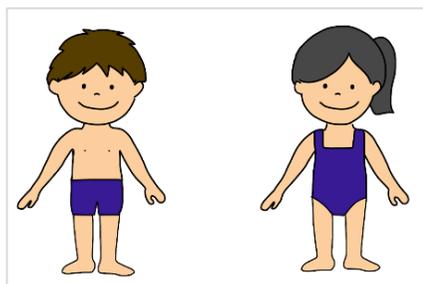
からだのなかで、
「さわられたくないところ」
「みられたくないところ」

嫌だと思うところは一人一人ちがうね。
その人が嫌だと思ったら、その人だけの大切な場所！

水着でかかれるところは「プライベートゾーン」といいます。

「じぶんだけのぼしょ」という意味だよ。

(具体的には 胸・お尻・性器 + くち をさします。)



プライベートゾーン

- やくそく ①見ない
- ②見せない
- ③さわらない
- ④さわらせない

人のプライベートゾーンをさわらないのはもちろん、
自分のプライベートゾーンも人前ではさわりません。

いいタッチかな？わるいタッチかな？



おうちのひと
あたまをなでる

うれしい気持ちになるから
いいタッチだと思う！

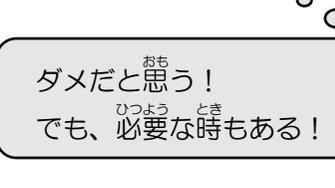


おうちのひと
プライベートゾーンを
さわる



ともだち
スカートめくり

ぜったいダメ～！
いやだよ、恥ずかしい！



ダメだと思う！
でも、必要な時もある！

「みんなの体はたからもの。プライベートゾーン以外の場所も、全部大切だよ。自分の体も、友だちの体も大切にしようね。」ということをお伝えしました。また、防犯の話にも繋げ、知らない人に触られるなどしたら、「さげふ」「にげる」「(安心できる人に)話す」ことをお伝えしました。

2年生 みんな大切ないのち

2年生では、「おなかの中にあるいのち」について、学習しました。

お母さんの
おなかの中！



いのちは、生まれる前から始まっているよ。

いのちの始まりの大きさは、画用紙に針で刺した穴のサイズ！とっても小さいね。

おなかの中にあるいのちがあるとき

おうちの方からの
手紙を紹介しました

①お母さんはどんな気持ちかな？どんなことが大変かな？

— “体を冷やさないように気をつけました。” “「つわり」が大変でした。”

“お腹の中にいた10ヶ月の間、待ち遠しかった。元気に育ってくれてありがとう♡”

②周りの人はどんなことができるかな？

— 「転ばないように手を繋いであげる！」 「席をゆする！」 「お手伝いをしてママを休ませる」
おなかの中にいる時から、たくさんの人が関わり、生まれてくるのを待ち望んでいたんだね。

児童の感想

- いのちのはじまりがすごく小さくてびっくりした。
- おかあさんは、(自分が)生まれるのが楽しみだったことが分かった。
- おかあさんうんでくれてありがとう。

3年生 どこがちがう？男女の体

3年生では、「男女のちがい」について、学習しました。



男かな??

女かな??

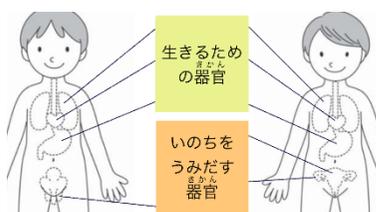
ランドセルが黒だから
男っぽい?

料理してるから
女のっぽい?



「男らしさ」「女らしさ」ではなく「自分らしさ」でよい

とはいえ・・・男女で絶対に違うところがあるよね



男女の違いは、体のつくり。
「生きるための器官」には、男女で違いがないけれど、
「命を生み出す器官」には、男女で違いがあるよ。

さらに、1年生で学ぶプライベートゾーンについて、「体の発達」や「命を生み出す」という部分をふまえながら、改めて確認しました。また、たとえ家族であっても「必要のないとき」にプライベートゾーンを見られたり触られたりしたら、「嫌だ」と言ってよいことをお伝えしました。

4年生 赤ちゃんと大人とわたし

▶ 4年生では、「体と心の発達」について、学習しました。



洋服で成長を実感！

— 私たち（9-10才）は、赤ちゃん（0才）と大人（18才）の狭間の時期。もう大人へ一歩近づいている！

赤ちゃんと大人で、どんなところが変わるかな？

— 「自分のことは自分でできるように」「体つき」「声が低くなる」

これらの変化は、ある日突然起こるのではなく、今から少しずつ変わっていきます。

心と体の変化の時期
“思春期”

体の外側の変化と、内側の変化（初経、精通）を確認

これらの変化が体の中で始まったら、いのちを作る準備が始まったということ！



お気に入りのおもちゃ、自分も遊びたくてとりあいにあった

～今の自分なら、どうするかな？～

同じもので遊びたい時、小さい頃は取り合っていたけれど、今の自分なら「ゆずる」「時間を決める」「一緒に遊ぶ」

▶ 「大人に近づくには、体だけでなく心も成長する必要がある」ことを伝えました。

6年生 にじいろの私たち

▶ 6年生では、「多様な性のあり方」について、学習しました。

先生は女性？男性？

ほとんどの児童は「女性」に手をあげ、「わからない・その他」と答えた児童に対しては笑い声も…

「人の性は見た目ではわからないよ」という児童の発言に、笑い声はなくなります。

性のあり方は、「体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」の、4つ要素の組み合わせで決まる。

これらの性は、「男」「女」とははっきり分かれているのではなく、グラデーションになっているよ。



“心の中”で自分の性のあり方を見つめる時間。きっと一人一人違っているね。

5年生 わたしは奇跡、あなたも奇跡

▶ 5年生では、「生命誕生の確率」について、学習しました。

いのちの始まりは、受精卵

精子と卵子が会うことで出来るのよね。

理科の授業の復習です。

精子と卵子が会う確率はどのくらい？

なんと、3億分の1の確率!!! (卵子の数をふまえたら1200兆分の1の確率)

DVDで確認

精子は多くの困難をのりこえて、3億の中のたった「1つ」だけが卵子と会うことができるんだよ。

いのち是谁から受け継がれているのだろうか。

一家系図を描いてたどっていくと…

数え切れない数の先祖がいる！

たくさんの「いのちのバトン」が引き継がれてきたんだね。

▶ 「わたしたちはこの世にたった1人の、奇跡的な存在。

自分のいのちも、周りの人のいのちも、大切にしようね。」ということを伝えました。



▶ 児童の感想

- ・私も、周りの人も、1つ1つが奇跡なんだと思った。
- ・今日の授業を受けて、命は素晴らしいものだと思感した。大切にしなければならない。
- ・ご先祖の誰か1人でもかけていたら私はいなかったと考えると、とても嬉しい気持ちになった。

セクシュアリティ（性のあり方）には、名前がついているもあるよ。

- シスジェンダー（心と体に違和感がない）
- ヘテロセクシャル（異性を好きになる）
- LGBTQ+ などなど

性的マイノリティの人々の生活は、快適？不便？

—「快適。理解してくれる人はいるから。」「不便。差別などがある。トイレやお風呂も大変。」

▶ LGBTの象徴であるレインボーフラッグ  をとりあげ、「どの色であっても、それが自分らしさなのだから、胸を張って生きてよいこと」「それぞれの違いを認め合うこと」を伝えました。

▶ 児童の感想

- ・男女で分けられることがなく、もっと自由な日本になってほしいと思った。
- ・様々な性があり、一人ひとり違うことがわかった。私は誰が誰を好きになってもいいと思う。
- ・自分はぬいぐるみが好きで女の子っぽいけど悩んでいたけど、気にしなくていいんだと思えた。
- ・他の人の性のあり方を否定しないことがとても大事だと思った。